

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況の公表及び効果の検証

【単位:円】

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	総事業費	【令和4年度遂行実績事業費】				成果目標	効果検証
					補助対象事業費			補助対象外経費		
					国庫補助金	内交付金 充当額	その他			
1	単	保育園給食調理器具整備事業	①給食調理委員が感染者となった場合、食器や調理器具を介しての新型コロナウイルス感染症への感染防止を図るため、小型食器消毒用保管庫の更新と、現在小型のオープン・消毒保管庫で数回に分けて調理等を行っている工程を、大型の業務用に更新して作業工程を改善し感染予防を図る。 園児の身体的距離確保による感染拡大防止の徹底を図る。 ②保育園における感染症対策備品の購入経費 ③食器消毒保管庫・スチームコンベクションオープン一式 1,672千円 (17節) 折りたたみテーブル(6人用) (17節) 36,300円×2台=73千円、 36,000円×10台=360千円 ④保育園	2,104,600	2,104,600	-	2,000,000	104,600	-	保育園が起因する新型コロナウイルス感染者発生件数 0件 ・テーブル購入で園児一人につき1台の使用が可能となり、身体的距離の確保が十分に図れ特に給食時は有効であった。 ・消毒保管庫内が広く、器具を重ねなくて良くなったこと、また数回に分けて行っていた乾燥消毒を確実に1回で実施できることとなった。 ・スチームコンベクションは1回での調理が可能となったことで、器具の使用種類や頻度が少なくなり、衛生的かつ調理時間の短縮が可能となった。
2	単	栄村指定管理施設宿泊事業持続化支援金	①新型コロナウイルス感染症の影響により売上額が減少し、事業継続が困難になっている村の温泉宿泊施設指定管理事業者を支援するため、支援金を支給する。 施設名「トマトの国」「北野天満温泉」 ②R3年度の売上額がR1年度に比較して20%以上減少している指定管理事業者を支援 支援金額=売上減少額×35% 支援金上限額 5,000千円 ③5,000千円×2事業者=10,000千円 (18節) ④村営温泉宿泊施設指定管理事業者	10,000,000	10,000,000	-	10,000,000	-	-	新型コロナの影響により売上が減少し、経営が悪化している2件の村有温泉宿泊施設指定管理事業者に支援金を支給することにより、経営を維持することが可能となった。 (参考)年間宿泊者数 R3 1462人 R4 2143人
3	単	観光広告宣伝事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が激減しているため、感染症の収束を見据え観光客の誘客を積極的に図るため、観光広告宣伝用の写真撮影を行う。 ②写真撮影業務委託料 ③写真撮影経費 (春夏秋冬) 1,100千円 (12節) 観光スポット (村内約100箇所、延べ150箇所) ④地方公共団体	1,100,000	1,100,000	-	1,100,000	-	-	新型コロナで売り上げが減少した事業者支援のため、撮影した観光写真を使用し、観光協会HPの写真の更新を行い、村内観光客数の増加を図ることができた。また、今後は村総合パンフレットの更新にも活用していく。 前年対比入込数(日帰り・宿泊共) 127.6% (参考) 観光客入込数 R3 31561人 R4 40283人

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費	【令和4年度遂行実績事業費】				成果目標	効果検証
					補助対象事業費			補助対象外経費		
					国庫補助金	内交付金 充当額	その他			
4	単	観光施設環境整備事業	①コロナ収束後の誘客の促進を図るため、指定管理観光施設(トマトの国・苗場山自然体験交流センター・楽養館)の施設整備を行う。 (ア)トマトの国(温泉宿泊) コロナウイルス感染症の終息後を見据え、指定管理施設の井戸ポンプの入替を行うことで新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い影響を受けた施設再起に向けた経営基盤整備を行う。 (イ)苗場山自然体験交流センター(山小屋) 食堂床は畳敷で座布団を使用するスタイルであるが、感染症対策、衛生管理が容易なフローリングに張替えることで、安心して多くの方から利用いただけるよう改修し、誘客を促進する。 ②トマトの国設備改修経費・苗場山自然体験交流センター改修経費 ③トマトの国温泉ポンプ入替工事 3,850千円 苗場山自然体験交流センター食堂床張替工事 調査設計22千円(12節) 工事費2,365千円(14節) ④村指定管理施設	6,237,000	6,237,000	-	5,874,000	363,000	-	観光客入込数 R6 90,000人 ・トマトの国井戸ポンプ交換 トマトの国の井戸ポンプの更新により温泉の安定稼働が実現し、宿都合による宿泊のキャンセルを行うことなく営業ができるようになった。 トマトの国入込数前年比129% ・苗場山頂ヒュッテ食堂床改修 湿害が軽減、食堂の衛生環境が改善され、コロナ禍に比較し利用者数が増加した。 苗場山自然体験交流センター入込数前年比126% (参考) 観光客入込数 R3 31561人 R4 40283人
5	単	道の駅「信越さかえ」持続化支援事業	①村指定管理施設「栄村物産館」の指定管理者においては、新型コロナウイルス感染症の影響で売上額が減少し、経営に支障をきたしているため事業継続の支援金を支給する。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、物産館食堂及び店舗の3密を避けるため、屋外休憩施設を整備し飲食スペースを作るとともに、農産物直売所へ利用客を分散誘導させるため、直売所から物産館店舗への誘客放送等が可能となる施設整備を行う。 ②指定管理施設「栄村物産館」の経営支援と施設整備 ③-1栄村物産館指定管理者への経営支援 R3年度の売り上げが、R1年度に比較して20%以上減少した場合、事業持続化のための支援金を支給する。 支援金額=売上減少額×35% 支援金上限額 3,000千円(18節) ③-23密回避のための施設整備 ・屋外飲食スペース整備(日除け施設) 1,128千円(14節) ・屋外飲食スペース舗装整備 810千円(14節) ・建物間の通信ケーブル工事 407千円(14節) ④ ③-1 栄村物産館指定管理者 ③-2 地方公共団体	5,344,100	5,344,100	-	4,800,000	544,100	-	物産館入込数 R4 85,000人を目標とする。 1 村の観光施設として大きな効果もたらしている栄村物産館を運営する事業者を支援することにより、事業の継続を図り従業員の雇用も確保することができた。(栄村物産館雇用者数25人) 2 屋外の飲食スペース整備等を行い、人の流れを店舗外へ誘導することで、店舗内での密集を回避し、感染拡大防止が図られた。 入込数は76,000人で目標に達しなかったが、事業者の事業継続、感染拡大防止が図られた。
6	単	商工観光事業者販売促進事業補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少し、経営が厳しくなっている村内観光事業者への支援を行うため、栄村商工会が取組む下記の事業経費に対して補助金を支給する。 ○観光客閑散期に村内宿泊施設を利用し宿泊した場合、1人1泊あたり、5千円を上限に利用客の宿泊料金を割り引く。 ②村内宿泊施設利用割引事業 村内宿泊施設の割引誘客事業経費に係る補助 ③ 割引額 900人×5千円=4,500千円 追加分 803千円…(ア)865千円+(イ)135千円+(ウ)3.85千円)×8/10 (割引額 ①173人×5千円=865千円、②54名×2.5千円=135千円、③振込手数料4千円) 合計 5,303千円(18節) ④栄村商工会	5,303,000	5,303,000	-	5,000,000	303,000	-	6~9月の宿泊閑散期における村内宿泊利用者数 3か月合計 1,100人 商工会が行う村内宿泊客への割引事業に補助金を支給することにより、観光閑散期における宿泊者の利用を確保するとともに、宿泊施設のPR効果があった。 6月~9月の本事業における宿泊客数=1,127人泊
7	単	栄村診療所(内科)医療機器整備事業	①コロナ禍において、診療所に足を運べない重症化リスクの高い高齢者等の感染リスクを下げるため、持ち運び可能な超音波画像診断装置を整備し、電子カルテと連携することにより在宅医療の促進と医療業務の効率化を図る。 ②国保(施設勘定)特別会計に繰出し、機器導入費用を交付対象経費とする。 ③超音波画像診断装置一式購入 (電子カルテへの連携作業含む) 4,290千円(27節) ・超音波画像診断装置本体 ・プローブ各3本 ・本体懸架台、増設バッテリー等周辺機器 ④国民健康保険(施設勘定)特別会計	4,290,000	4,290,000	-	4,290,000	-	-	訪問診療 12件/年 ・持ち運び可能な超音波画像診断装置を整備しことにより、診療所の来院者に加え診療所に足を運べない方への在宅医療の体制を整えることができた(R4使用実績48件)。 ・使用している電子カルテと連携ができるため医療業務の効率化が図られた。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費	【令和4年度遂行実績事業費】				成果目標	効果検証
					補助対象事業費			補助対象外経費		
					国庫補助金	内交付金 充当額	その他			
8	単	公務執行対策 新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策 事業	①公務執行にあたり、庁内等で新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を図るため衛生用品を購入する。 ②公務で必要な衛生用品購入経費 ③ペーパータオル小判 1箱(200枚/50束) 2,604円×48箱≒125千円 除菌できるアルコールタオル本体1本(100枚) 420円×40本≒17千円 除菌できるアルコールタオル詰替(80枚) 275円×960個=264千円 次亜塩素酸ナトリウム 1本(5kg) 695円×10本≒7千円 CO2測定器10, 428×10個≒105千円 計518千円(10節) ④役場庁舎等施設	517,022	517,022	-	500,000	17,022	-	公務を起因とする新型コロナウイルス感染症の発生件数 0件  感染症拡大防止のための物品を整備することで、庁舎利用者及び職員が安心して来庁・勤務することでき、庁舎内でのクラスター感染の発生を抑えることができた。
9	単	ペーパーレス 会議環境等整備 事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、感染防止対策を講じた業務環境(ペーパーレス会議・リモートワーク)等を整備し、接触機会の削減と行政サービスの維持等を図る。 ②庁舎内ネットワークの無線化・資機材等の整備 ③積算根拠 ○庁内ネットワークの無線化整備 937千円(12節) ○庁内ネットワークの無線化に伴うLAN配線 401千円(12節) ○PC管理システム構築整備(無線化に伴うセキュリティ強化) 744千円(12節) ○PC購入(リモートワーク等) 113,300円×10台=1,133千円(17節) ④役場、支所	3,214,179	3,214,179	-	2,800,000	414,179	-	令和4年度の紙資源削減数: 10,000枚  WEB会議やペーパーレス会議等、職員の分散勤務とペーパーレス化による接触機会と紙消費量の削減を実現し、感染拡大防止に寄与した。
10	単	商工観光事業者 経営支援金	①新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受け、事業の継続が困難になっている村内事業者に対して支援金を支給し、事業継続を支援する。 ②商工観光事業者への経営支援金 ③39事業者×100千円=3,900千円(18節) 26事業者×200千円=5,200千円(18節) ④宿泊、飲食、運輸、観光、製造業、食品製造、卸売業、小売業、建設事業者他 (その他財源:長野県第6波対応事業者支援交付金7,600千円)	9,100,000	9,100,000	-	1,500,000	7,600,000	-	R4新型コロナによる 村内事業者 廃業軒 数0件  新型コロナの影響により、事業継続に支障が生じている村内商工観光事業者の事業継続が図られた。 支給事業者数 個人事業主 39事業者 法人 26事業者
11	単	栄村地域活性化 対策商品券 配布事業	①コロナ禍において、物価、燃料費の高騰により経営収支が悪化している商工事業者及び家計支出が増加している村民生活を支援するため、村内で使用できる商品券を配布する。(配布した商品券は直接村民への支援となり、村内のみで使用可能であることから、村内事業者へ全て還元される。) ②村内で使用可能な商品券を全村民に配布する費用 ③商品券代1千円×38,507枚=38,507千円(12節) 商品券、チラシ印刷代 533千円(10節) 郵送料 27千円(11節) 事務委託料(事業費の1%) 385千円(12節) 内19,548千円分 ④村内商工事業者及び全村民  NO. 11, 12, 13, 17同事業	19,547,371	19,547,371	-	17,696,000	1,851,371	-	村内消費 喚起額 20,244千 円  村民への商品券配布率98.8%、商品券利用率97.3%で、村内経済の活性化とともに、村民生活の支援が図られた。 村内経済波及効果38,507千円
12	単	栄村地域活性化 対策商品券 配布事業 (国R3予算充 当分)	①コロナ禍において、物価、燃料費の高騰により経営収支が悪化している商工事業者及び家計支出が増加している村民生活を支援するため、村内で使用できる商品券を配布する。(配布した商品券は直接村民への支援となり、村内のみで使用可能であることから、村内事業者へ全て還元される。) ②村内で使用可能な商品券を全村民に配布する費用 ③商品券代1千円×38,507枚=38,507千円(12節) 商品券、チラシ印刷代 533千円(10節) 郵送料 27千円(11節) 事務委託料(事業費の1%) 385千円(12節) 内1,604千円分 ④村内商工事業者及び全村民  NO. 11, 12, 13, 17同事業	1,604,000	1,604,000	-	1,604,000	-	-	村民及び 事業者へ の支援額 20,244千 円  村民への商品券配布率 98.8%、商品券利用率97.3% で、村内経済の活性化ととも に、村民生活の支援が図られ た。 村内経済波及効果38,507千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	【令和4年度遂行実績事業費】				成果目標	効果検証
					補助対象事業費			補助対象外経費		
					国庫補助金	内交付金 充当額	その他			
13	単	栄村地域活性化対策商品券配布事業（国R4予算充当分）	①コロナ禍において、物価、燃料費の高騰により経営収支が悪化している商工事業者及び家計支出が増加している村民生活を支援するため、村内で使用できる商品券を配布する。（配布した商品券は直接村民への支援となり、村内のみで使用可能であることから、村内事業者へ全て還元される。） ②村内で使用可能な商品券を全村民に配布する費用 ③商品券代1千円×38,507枚=38,507千円（12節） 商品券、チラシ印刷代 533千円（10節） 郵送料 27千円（11節） 事務委託料（事業費の1%） 385千円（12節） 内17,500千円分 ④村内商工事業者及び全村民  NO. 11, 12, 13, 17同事業	17,500,000	17,500,000	-	16,760,000	740,000		村民及び事業者への支援額20,224千円  村民への商品券配布率98.8%、商品券利用率97.3%で、村内経済の活性化とともに、村民生活の支援が図られた。 村内経済波及効果38,507千円
14	単	栄村稲作農家燃料高騰対策支援事業	①コロナ禍における燃料価格の高騰により、農業経営に影響を受けた稲作農家に対し、負担軽減を図るため、支援金を交付する。 ②稲作作付面積（経営耕地）1千円/10aを交付。 ③1816.7ha×10千円（18節） ④事業者（稲作農家262戸）	1,816,700	1,816,700	-	1,600,000	216,700	-	R3年度の稲作作付面積と比較し、その減少面積を、1ha以下に抑える。  R4の作付け面積は、R3と比較し115a増加となり、「減少面積を1ha以下に抑える」という当初の成果目標は達成された。作付けを行った農業者数は前年より減少となったものの作付け面積は増となり、本事業の実施により、耕作の継続という点では一定の効果があった。増加の要因としては、担い手への農地集積や新規で作付けを行った者等の影響により、総計で面積が増加となったと考えられる。
15	単	栄村家畜預託利子補給事業	①コロナ禍の家畜飼料等の高騰により、悪影響を受けた畜産農家に対して、経費圧迫を軽減するため、家畜預託の利子を支援することで、畜産経営の安定化を図る。 ②家畜預託利子の農家負担分を補助 ③510頭 預託元金376,418千円 平均預託日数241日 利子補給率0.3%（18節） ④事業者（法人1）	773,837	773,837	-	700,000	73,837	-	R4新型コロナウイルスによる村内事業者廃業軒数0件  家畜預託利子の畜産農家負担分を全額補助することにより、農家の経費圧迫を軽減し、経営の一助となった。R4新型コロナウイルスによる村内事業者廃業件数は0件となり、当初の成果目標は達成された。
16	単	栄村燃料購入助成券配布事業	①コロナ禍において、燃料費等の高騰により影響を受けた家計への支援を行うため、村内で使用できる燃料購入助成券を配布する。 ②村内で使用できる燃料助成券を全世帯（施設入所世帯を除く）に配布する費用。 ③燃料購入助成券代1千円×14,225枚=14,225千円（18節） 商品券印刷代 126千円（10節） 郵送代 10千円 ④全世帯（施設入所世帯を除く）	14,360,382	14,360,382	-	13,835,000	525,382	-	世帯への支援額14,940千円  村民への燃料購入助成券配布率98.3%、利用率96.9%でコロナ禍において燃料高騰により影響を受けた家計への支援を行うとともに、村内経済の活性化が図られた。 世帯への支援額（村内経済波及効果）14,225千円

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	【令和4年度遂行実績事業費】				成果目標	効果検証
					補助対象事業費			補助対象外経費		
					国庫補助金	内交付金 充当額	その他			
17	単	栄村地域活性化対策商品券配布事業(重点交付金分)	①コロナ禍において、物価、燃料費の高騰により経営収支が悪化している商工事業者及び家計支出が増加している村民生活を支援するため、村内で使用できる商品券を配布する。（配布した商品券は直接村民への支援となり、村内のみで使用可能であることから、村内事業者へ全て還元される。） ②村内で使用可能な商品券を全村民に配布する費用 ③商品券代1千円×38,507枚=38,507千円（12節） 商品券、チラシ印刷代 533千円（10節） 郵送料 27千円（11節） 事務委託料（事業費の1%） 385千円（12節） 内800千円分 ④村内商工事業者及び全村民  NO. 11, 12, 13, 17同事業	800,000	800,000	-	800,000	-	-	村内消費喚起額 20,244千円  村民への商品券配布率98.8%、商品券利用率97.3%で、村内経済の活性化とともに、村民生活の支援が図られた。 村内経済波及効果38,507千円
計				103,612,191	103,612,191	-	90,859,000	12,753,191	-	